

参考事例集

参考で挙げる機関の情報(ラベリング)

2021年5月1日時点※1

機関名	設置形態	キャンパス数	学部数	教員数	理系の学部場所
北海道大学	国立大学	主要2 【札幌、函館】	12学部	2,302人	2キャンパス 【札幌】:理・医・歯・薬・工・農・獣医・水産 【函館】:水産
千葉大学	国立大学	主要5 【西千葉、亥鼻、松戸、 柏の葉、墨田】	10学部	1,325人	3キャンパス 【西千葉】:理・工 【亥鼻】:医・薬・看 【松戸】:園芸
東京医科歯科大	国立大学	主要3 【湯島、駿河台、国府台】	2学部	846人	1キャンパス 【湯島】:医・歯
東京工業大学	国立大学	主要3 【大岡山、すずかけ台、田 町】	6学院	1,054人	2キャンパス 【大岡山】:理・工・物質理工・情報理工・環社理工 【すずかけ台】:生命理工
東京農工大学	国立大学	主要2 【府中、小金井】	2学部	385人	2キャンパス 【府中】:農学 【小金井】:工学
新潟大学	国立大学	主要2 【五十嵐、旭町】	10学部	1,175人	2キャンパス 【五十嵐】:理・工・農 【旭町】:医・歯
長岡技科大学	国立大学	主要1 【長岡】	1学部	206人	1キャンパス 【長岡】:工
金沢大学	国立大学	主要2 【角間、宝町・鶴間】	4学域	1,039人	2キャンパス 【角間】:理工 【宝町・鶴間】:医薬保健
東海国立大学機構 (岐阜大学)	国立大学	主要1 【岐阜】	6学部	745人	1キャンパス 【岐阜】:医・工・応生
東海国立大学機構 (名古屋大学)	国立大学	主要3 【東山、鶴舞、大幸】	9学部	2,324人	2キャンパス 【東山】:理・工・農・情 【鶴舞】:医
名古屋工業大学	国立大学	主要1 【御器所】	1学部(5学科・1 課程)	353人	1キャンパス 【御器所】:工
京都大学	国立大学	主要3 【吉田、宇治、桂】	10学部	3,475人	3キャンパス 【吉田】:医・工・農・薬 【桂】:工 【宇治】:農
大阪大学	国立大学	主要3 【豊中、吹田、箕面】	11学部 (16研究科)	3,358人	2キャンパス 【豊中】:理・基礎工 【吹田】:工・医・歯・薬・(生命)・(情報)・(連合小 児) ※()は独立大学院
山口大学	国立大学	主要3 【吉田、小串、常盤】	9学部	951人	3キャンパス 【吉田】:理・農・獣医 【小串】:医 【常盤】:工
鳥取大学	国立大学	主要3 【鳥取、米子、浜坂】	4学部	724人	2キャンパス 【鳥取】:工・農 【米子】:医
宮崎大学	国立大学	主要2 【木花、清武】	5学部	729人	2キャンパス 【木花】:工・農 【清武】:医

参考で挙げる機関の情報(ラベリング)

機関名	設置形態	キャンパス数	学部数	教員数	理系の学部場所
静岡県立大学	公立大学	主要2 【草薙、小鹿】	5学部	275人	2キャンパス 【草薙】:薬・食品栄養科学・看護 【小鹿】:看護
名古屋市立大学	公立大学	主要4 【桜山、滝子、田辺通、北千種】	7学部	647人	3キャンパス 【桜山】:医 【田辺通】:薬 【滝子】:総合生命理
早稲田大学	私立大学	主要4 【早稲田、戸山、西早稲田、所沢】	13学部	2,208人 ^{※2} (^{※2} : 2021/4/1 時点)	2キャンパス 【西早稲田】:基幹理工・創造理工・先進理工 【所沢】:人間科学・スポーツ科学
東海大学	私立大学	主要7 【湘南、代々木、高輪、清水、伊勢原、熊本、札幌】	19学部	1,583人	6キャンパス 【湘南】:理・情報理工・教養 【伊勢原】:医 【高輪】:情報通信 【清水】:海洋 【熊本】:基盤工・農 【札幌】:生物
高エネルギー加速器 研究機構	大学共同利用機関	主要2 【つくば】【東海】	3分野	672人 ^{※3} (^{※3} : 2020/4 時点)	2キャンパス 【つくば】【東海】加速器・素粒子・物質科学
理化学研究所	国立研究開発法人	主要10 【仙台、筑波、和光、東京、横浜、名古屋、大阪、けいはんな、神戸、播磨】	16分野	3,451人 ^{※4} (^{※4} : 2021/4/1 時点)	10キャンパス 【仙台】:光量子 【筑波】:バイオ 【和光】:脳神経・光量子・量子コン 加速器 【東京】:人工知能、データサイエンス 【横浜】:生命医科学 【名古屋】:ロボット 【けいはんな】:人工知能、バイオ、ロボット 【大 阪】:生命機能 【神戸】:生命機能 【播磨】:放射光
物質・材料研究機構	国立研究開発法人	主要3 【千現、並木、桜】	8拠点	1,582人 ^{※5} (^{※5} : 2021/9/1 時点)	2キャンパス 【千現】:磁性スピン・構造材料・先端材料・技開/共用・元素戦略・先 進蓄電池 【並木】:機能性材料・エネ環材・国際ナノ

※1:大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」
(<https://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>)を加工して作成

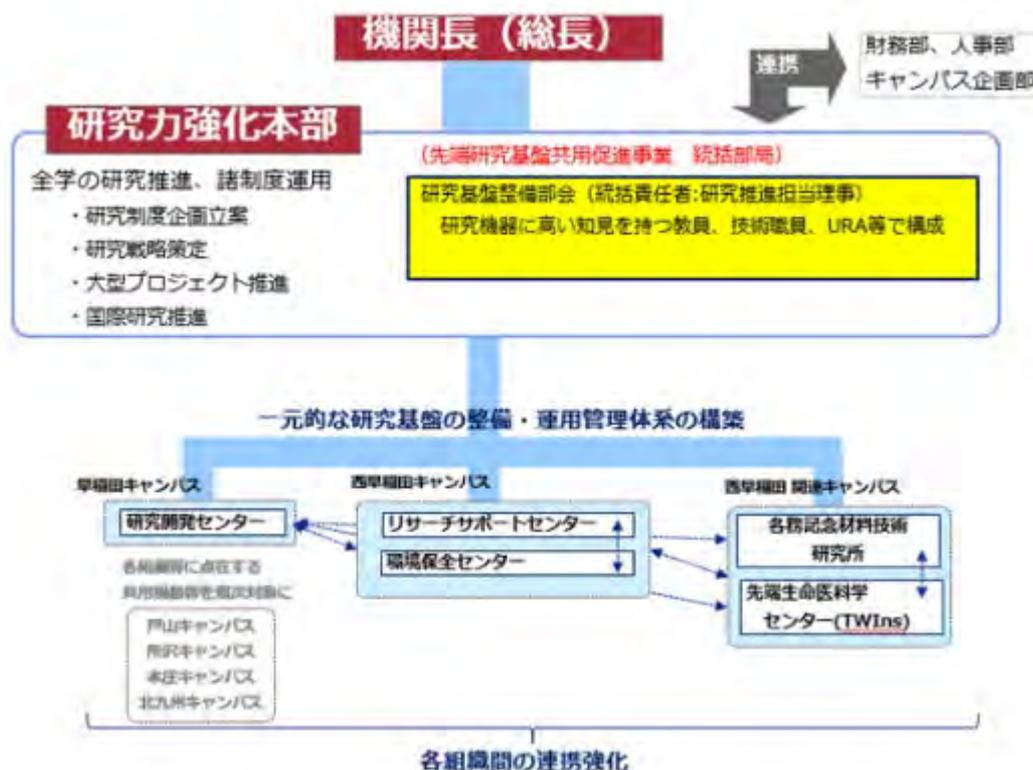
2. 研究設備・機器の共用の重要性

(2) 基本的考え方

② 多様なプロフェSSIONALが協働する「チーム共用」の推進

早稲田大学

教員、技術職員、URA等から構成される統括部局が全学的な共用を推進する体制を整備。技術職員は一元化されており、部局等の組織を超えた共通化に貢献。



狙い・ポイント:これまで理工系組織を中心として個別組織ごとに推進してきた研究設備・機器の共用化を機関全体で戦略的に推進すべく、教員・技術職員・URA等から構成される統括部局を設置。統括部局では統一的な運用管理、運用評価を行うとともに戦略的に機器配置を実施。

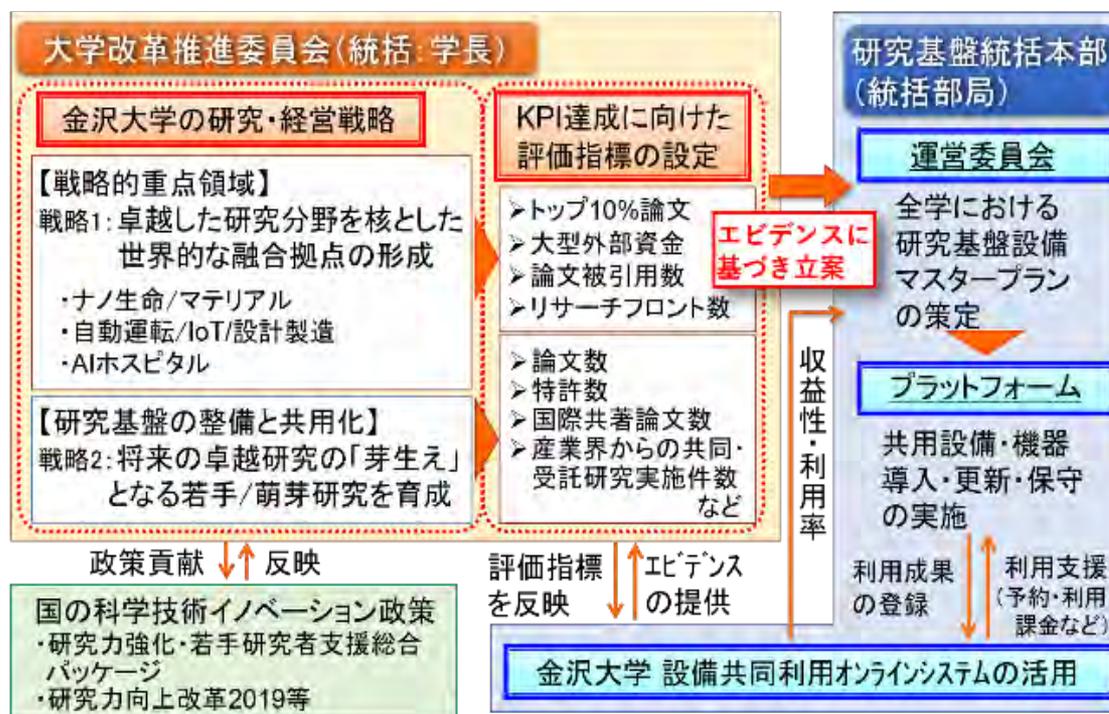
2. 研究設備・機器の共用の重要性

(2) 基本的考え方

③ 「戦略的設備整備・運用計画」策定の意義

金沢大学

経営戦略と直接的に結び付く評価指標に基づき、研究基盤整備を進め、利用状況等のエビデンスに基づくマスタープランの策定、経営戦略や指標への反映を実施



狙い・ポイント: 設備共同利用オンラインシステムの活用により、研究基盤の運用とエビデンス収集を効率化。エビデンスの分析を大学経営陣につなげ、研究・経営戦略に基づいた研究基盤の更新、運用を実行。

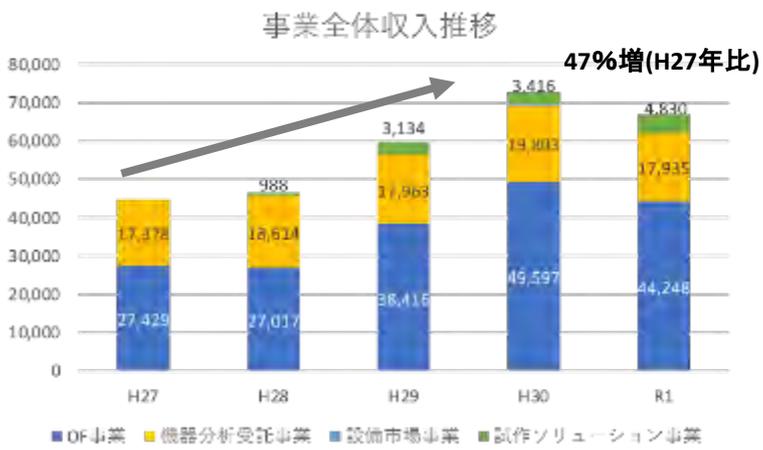
2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

① 目標達成に向けた限りある資源の効果的な活用

北海道大学

研究設備・機器の活用により収入を拡大。
また、技術職員が共用設備・機器を用いて実施する、受託分析を通して論文創出へ貢献。



OFシステム整備/共用機器管理センター設立

Topジャーナルへの貢献 (Top1%論文含む)

Journal	Number of Papers	Impact Factor	Q1
JOURNAL OF THE AMERICAN CHEMICAL SOCIETY	20	14.57	14.5
ANGEWANDTE CHEMIE-INTERNATIONAL EDITION	9	36.5	12.4
NATURE COMMUNICATIONS	2	19.1	13.8
NATURE CHEMISTRY	1	13.1	27.3
CHEMISTRY OF MATERIALS	1	6.7	10.1
ACS CATALYSIS	1	11	12.6

Nature系列等、IF10以上論文34報を支援

狙い・ポイント: 大学が有する機器・技術を活用した事業を、創成研究機構GFCが統括展開することで収入を拡大。また、特に受託分析事業に関して専門知識を有する技術職員のサポート体制の充実により、インパクトの高い論文など成果創出へ貢献。試作ソリューション事業では科学技術イノベーションへの創出に。

2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

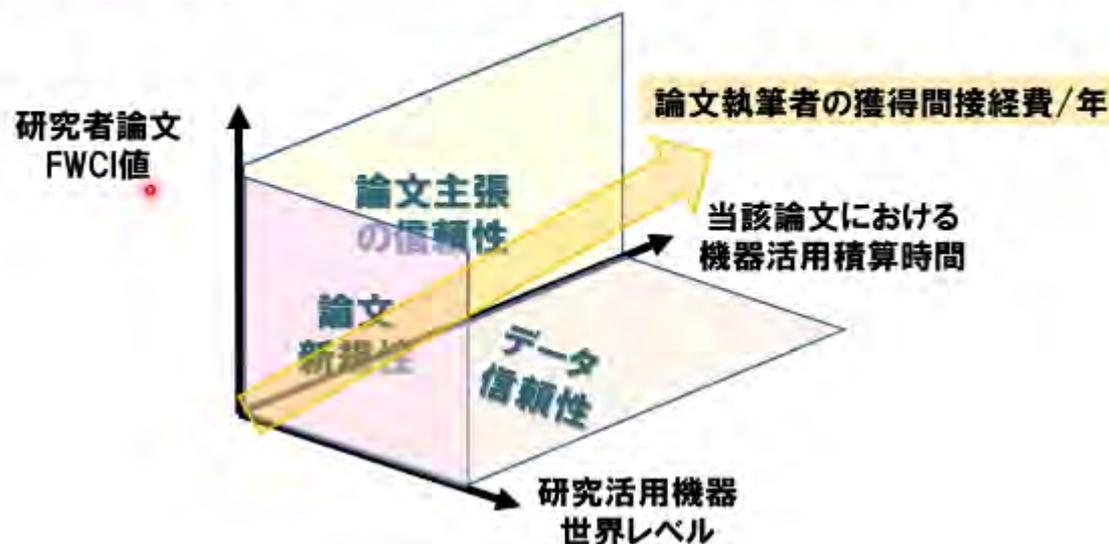
① 目標達成に向けた限りある資源の効果的な活用

名古屋工業大学

共用設備・機器の活用と論文創出、間接経費獲得への相関を分析

受託・共同研究等間接経費と研究成果相関

学内外向け共用装置活用者の研究を加速させることは、間接経費獲得に直結している



狙い・ポイント: 経営の戦術として、研究者が生み出す論文のFWCi値の経年調査、研究者の獲得する外部資金、および、活用している共用設備と併せて調査し、当該分野における研究レベルの高まりをアシスト。

2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

② 外部との連携への発展(共同研究や産学連携・地域連携)

千葉大学

設備共用も軸として、異分野融合も含めた共同研究拠点を形成



狙い・ポイント: 共同研究拠点の形成において、研究設備の共用環境およびそれに関わる人的交流環境を積極的に整備。分野を越えた設備の多角的な活用を促し、それを軸とした異分野融合型共同研究の活性化。

静岡県立大学

薬学部と食品栄養科学部が進める、薬食融合研究の中で、連携の深化、効率的な研究活動の推進から、高額な研究設備・機器の共用が進展。

狙い・ポイント: 高額な研究設備・機器について、全学共同利用機器委員会及び各機器管理担当者による利用説明、技術指導、メンテナンス、日程調整、保守費用の一部負担金徴収等が行われ、効率的かつ持続的な機器の共用に努めている。

2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

② 外部との連携への発展(共同研究や産学連携・地域連携)

宮崎大学

研究基盤の共用を通じて、地域での連携促進、ネットワークを構築

設立目的：宮崎県内に所在する高等教育機関、地方公共団体、公設試験研究機関及びその他関係機関が連携し、宮崎県内の設備の共同利用や情報共有による連携機関の研究基盤強化並びに設備利用技術の継承・高度化に向けた人材の育成に取り組み、宮崎県の産業振興並びに研究振興に寄与することを目指す。



狙い・ポイント:みやざきファシリティネットワークは、宮崎県内の設備共同利用や情報共有による連携機関の研究基盤強化、設備利用技術の継承・高度化に向けた人材育成、宮崎県の産業振興並びに研究振興への寄与、を目指す。

2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

② 外部との連携への発展(共同研究や産学連携・地域連携)

名古屋工業大学

包括契約による組織対組織の連携促進の仕組みを運用

パートナーラウンドテーブル

大学・企業間の包括契約のもと
新たな事業や新規テーマの芽を育てる

企業側のメリット

- ・ 案件毎に守秘義務契約を結ぶ必要なし
- ・ 希望する研究者と何度でも面談可能
- ・ 分析・評価やお試し実験にも利用可能
- ・ 装置を使ったお試し共同研究も可能
- ・ 先進技術の取り込みが可能



狙い・ポイント: パートナー企業と大学が組織的に連携し、共同研究の創出のための意見交換の「場」を設け、専門分野が異なる複数の研究者と一緒に企業ニーズの解決策について議論・提案を通じて、質の高い共同研究の創出を実現。

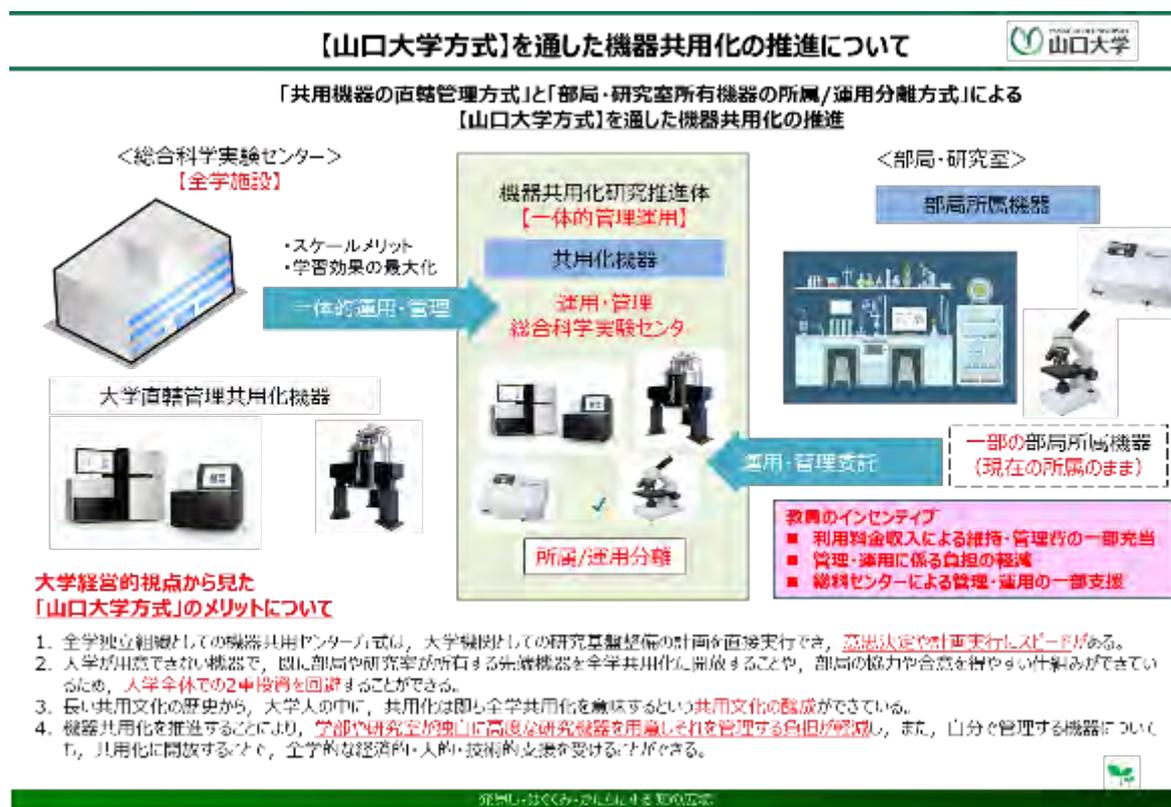
2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

③ 効率的な管理・運用による技術的・金銭的メリット

山口大学

集中管理する大型設備に加え、部局等の設備・機器の管理を中央部局が担い、共用対象設備の効率的な管理を実施



狙い・ポイント:3キャンパスにある「総合科学実験センター」の各施設に全学共用機器を集約し、同センター所有の設備・機器と同センターが委託を受けた部局等の設備・機器を一体的に運用・管理する「山口大学方式」により、研究者の負担軽減・二重投資の防止等、効率的な機器管理を実施。

2. 研究設備・機器の共用の重要性

(3) 共用システムの意義とメリット

③ 効率的な管理・運用による技術的・金銭的メリット

新潟大学

利用料金の集約による維持管理費等の体系的な措置

＜研究設備の維持管理費の考え方＞

- ◆ 設備導入後に発生する維持管理費は、本学における毎年度の予算及び共用設備使用料を財源にして研究設備維持運営費として措置する。
- ◆ 研究設備維持運営費は、一定の基準に基づき予算配分する。
主たる基準
 - 取得価格が1000万円以上の設備を対象とする。
 - 措置額は経過年数を勘案のうえ、概ね取得価格の2～4%とする。
 - 取得後2年～16年を措置年限とする。
- ◆ 共用化を促進するため、「共用化推進経費」として、研究設備維持運営費の一部を共用設備に対するインセンティブとして重点配分する。併せて、今後も段階的に共用設備の強化・整備を目的とした予算配分を拡充する。

狙い・ポイント: 現有設備の維持管理予算の有効活用のため、統括部局で管理し、最小限に抑えることが目的。節減した予算は、現有設備の有効活用、設備の導入経費、維持管理費、設備マネジメント機能強化の推進などの研究設備の共用化に対するインセンティブ等として活用。

金沢大学

全学的な共用システムに登録される設備・機器について、必要な維持費を年度当初に配分。(利用料収入が発生する前から、設備・機器の維持に必要な消耗品等の調達が可能に)

狙い・ポイント: 研究基盤統括本部において、設備共同利用オンラインシステムを利用して、設備ごとの利用料・維持費予算の全体を把握。年度初めに設備維持費相当を一括配分することで、効率的に経費を執行。

3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

① 経営戦略への位置づけ

新潟大学

中期目標・中期計画(第3期)における共用等の位置づけ

【中期目標】

「研究の質を向上させるとともに、社会からの要請等に柔軟に対応できる研究支援体制を構築する。」

【中期計画】

研究の基盤的な環境を充実させるため、共同研究スペースの十分な確保、学内共同利用施設の統廃合及び大型・中型機器等の研究設備の計画的整備を行う。

施設・設備・スペース等のストック資産を効率的・効果的に利用するため、若手・女性研究者等の採用促進と合わせた共用スペースの供与を進める。また、機器分析センターを発展的改組して専門的人材による支援の下、大型分析機器をはじめとする研究設備の共用化を進め、利用状況等のエビデンスに基づいて設備を有効活用する。

狙い・ポイント: 既存4組織を統合した共用設備基盤センターの設立により、全学の研究支援組織として情報共有・効率化することが目的。全学的に大型・中型研究設備の共用化・集約化を進め、設備・スペース・人材・財源の有効活用を行うとともに、研究支援体制の充実を図る。

理化学研究所

第4期中長期計画における共用等の位置づけ

「共通基盤ネットワークの機能の構築」(中長期計画から抜粋)

研究所内の共通研究基盤施設・機器等の存在や利用方法等を可視化し、研究所の研究資源利用の効率化を図る。研究所には国家的、社会的要請にこたえる戦略的研究開発の推進において整備された共通研究基盤となる施設・機器等があることに鑑み、本来の事業に支障なく研究所内での利用が可能となるシステムを構築する。

狙い・ポイント: 共通研究基盤施設・機器等の存在や利用方法等の可視化、研究資源利用の効率化が目的。さらに支援による共同研究・異分野融合研究を推進を期待。

3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

① 経営戦略への位置づけ

岐阜大学

学長による共用化ポリシーの策定

平成 29 年 12 月 14 日
学 長 裁 定

岐阜大学 研究機器共同利用ポリシー

公費で購入する研究設備・機器はもとより公共財であり、それらを内外に開放し複数の研究者等が利用できるにすることは、社会の一員としての大学の責務である。さらに研究開発投資の効率化を図り、広く研究の基盤を提供することで、本学及び地域におけるイノベーション創出に寄与することが求められている。限りある研究費を効率的に使用し研究者の交流を促進して本学における研究を推進するとともに、研究における地域の中核となるために以下のポリシーを定める。

- 1) 研究機器の共同利用は全学にかかる課題であることを共有し、研究基盤の充実を推進する。
- 2) 現在の学内共同機器を中心として、各研究室、学科、課程、講座等で使用している機器の共用機器としての登録を推進し、共用機器の学内ネットワークを充実する。
- 3) 機器の特性に応じ、研究機器の可能な限りの共同利用を推進する。
- 4) 本学の共用機器ネットワークを基にして近隣大学、公的研究機関等と連携し、学内外の共同研究推進の中核としての役割を果たす。

狙い・ポイント: 研究者の交流を促進し研究の推進を支援するとともに、研究・開発における地域の中核となるため、共同利用施設の共用機器に加え、各部局の研究室に設置された機器の共用化と学内外における有効利用を図る。

大阪大学

研究担当理事による共用化ポリシーの策定

「研究設備・機器の共用に関する基本的な考え方について」

(平成28年12月21日 研究担当理事通知)

- 1 汎用性が高い研究設備・機器だけでなく、先端的な研究設備・機器も、**原則として共用化するという方針のもと実行**
 - (1) 現在保有している研究設備・機器の共用化を検討
 - (2) 今後、研究設備・機器を購入するに当たっては、共用化を検討
 - (3) 競争的研究費により獲得した研究設備・機器において、プロジェクト期間中の共用が困難な場合でも、期間終了時に共用化を検討
 - (4) 共用化の判断については、メリット、デメリットを勘案
 - (5) 共用の範囲（学外、学内、部局内等）は、研究設備・機器の性質に応じて、判断
- 2 全学の研究設備・機器データベースを作成・公開
 - (1) 各部局等で管理する研究設備・機器の**共用化の検討状況を把握するための調査を実施**
 - (2) 全学の**研究設備・機器情報を集約一元化し、研究設備・機器データベースを作成**

狙い・ポイント: 研究設備・機器は、研究者個人だけのものではなく、大阪大学全体の資産でもあるという共通理解を形成。研究設備・機器共用を学内外へ開放(オープンファシリティ)し、大学全体の研究教育活動のさらなる活性化を促進することを目的として共用化ポリシーを制定。

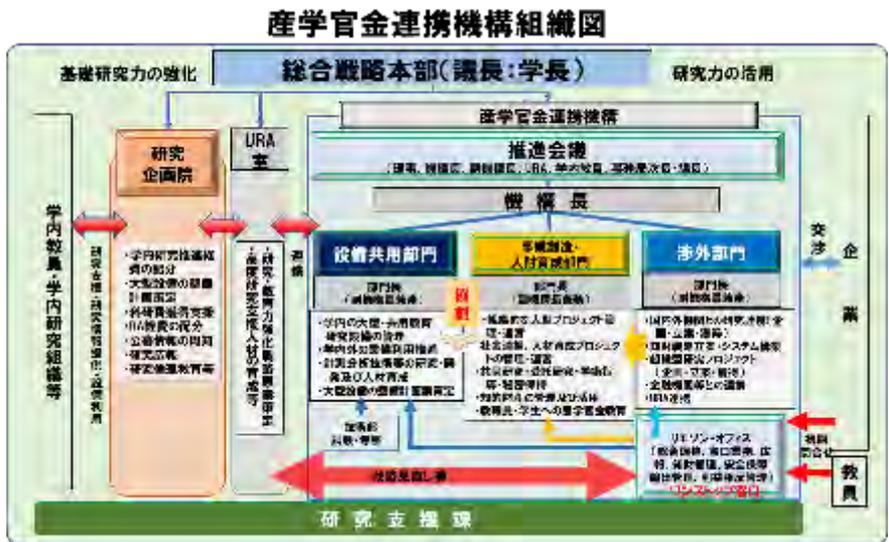
3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

② 共用に係る統括部局の確立

名古屋工業大学

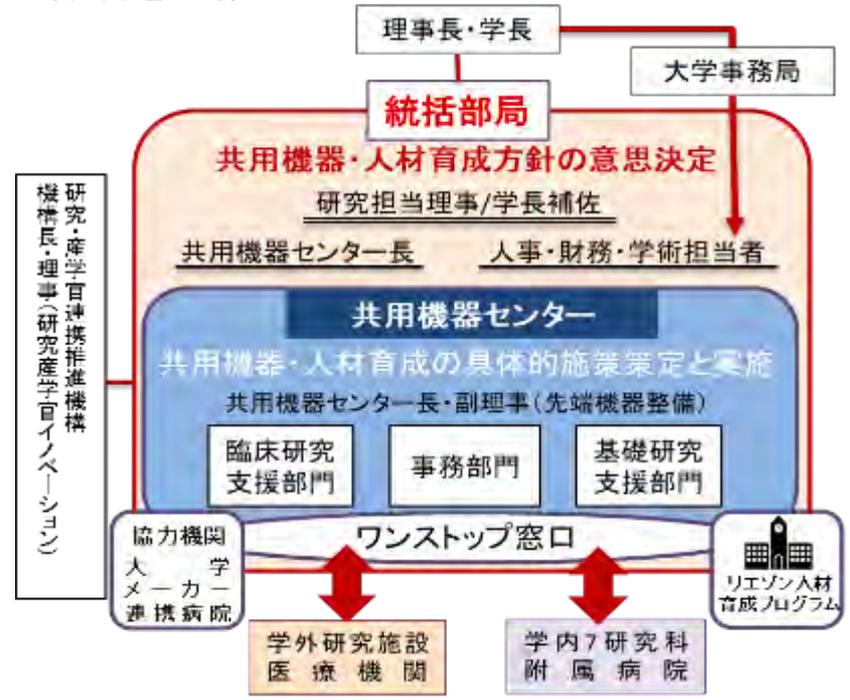
産学連携の中核に設備を位置付け、大型設備基盤センターと産学官連携センターを統合



狙い・ポイント: 産学連携を管轄する部署と設備を結びつけ、受託試験を依頼する企業のニーズを把握し、各企業へ最適な連携形態の提案を実現。また、大学の産学官金連携に必要な設備環境、費用、人員、研究成果の管理方法等を一元に管理。

名古屋市立大学

機器共用センターを設け、全学的な共用を推進する体制を整備



狙い・ポイント: 新たに臨床研究に対する支援を強化する目的で専門的に知識を持った職員を育成し専門の部門を配置。併せて学内外からの機器に関する統一窓口(ワンストップ窓口)を設置して全学的な共用を推進できる体制を構築。

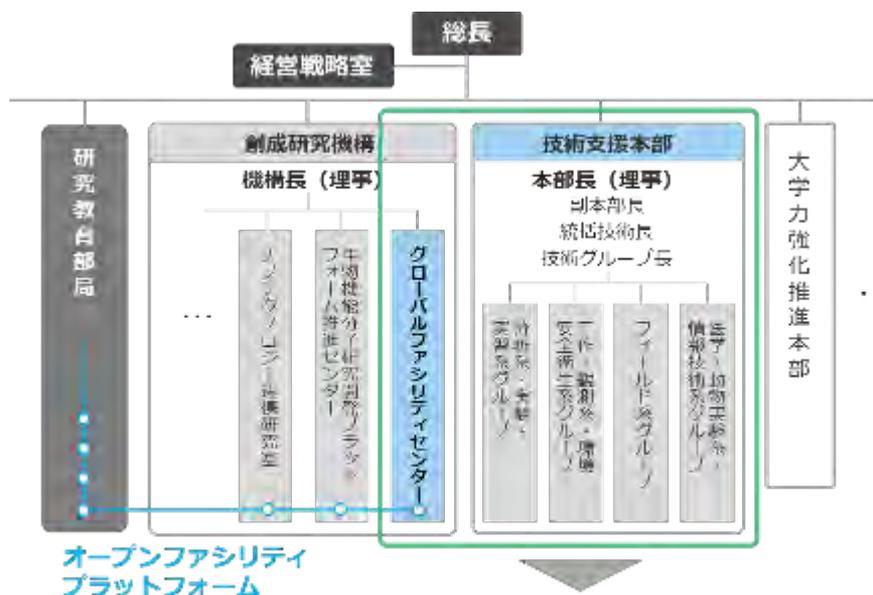
3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

② 共用に係る統括部局の確立

北海道大学

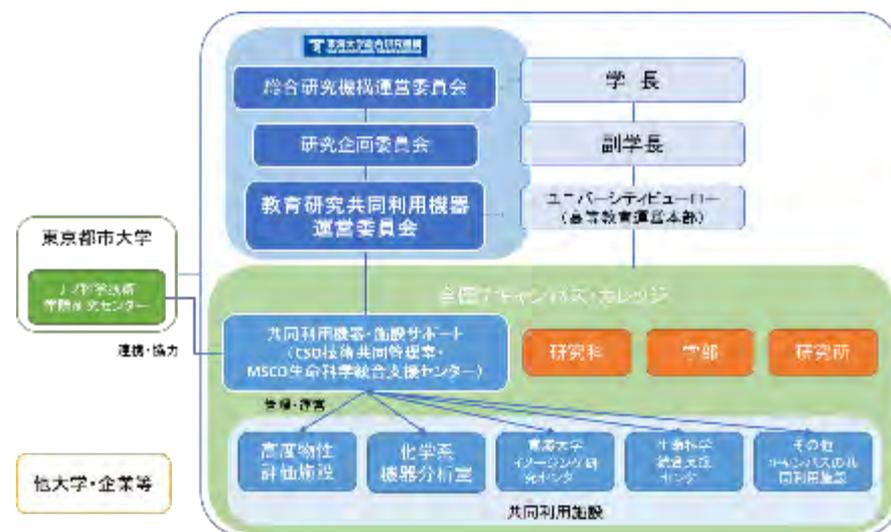
学内の拠点の一つが、技術支援本部と一体となり、学内の各拠点を総括し、全学的な共用を推進



狙い・ポイント: 機器共用を主導するグローバルファシリティセンターと、技術職員の育成を主導する技術支援本部の二つの組織の機能を連動させ、相乗効果を生み出す組織として、技術支援・設備共用コアステーションを設置。

東海大学

共用の取組が先行していた生命科学の部署を中心に各キャンパスの共用の取組を統括



狙い・ポイント: 学長を委員長とする総合研究機構運営委員会、副学長を委員長とする研究企画委員会、ユニバーシティビューローのゼネラルマネージャーを委員長とする共同利用機器運営委員会の3者が密に連携。経営戦略へ現場の声を届け、現場への経営戦略の浸透を図る体制を実現。

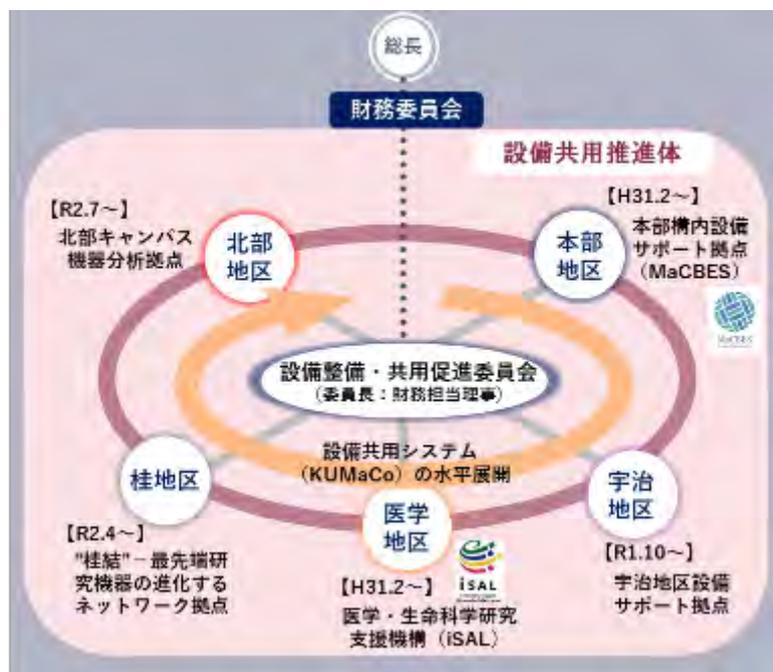
3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

② 共用に係る統括部局の確立

京都大学

各キャンパスの拠点メンバーからなる委員会では、全体の連携等を図る



狙い・ポイント: 財務委員会の下に設置した設備整備・共用促進委員会が、設備共用の全学的な司令塔機能を発揮。専門分野、キャンパス構成を活かし、既存部局の枠組みを超えた設備サポート拠点を整備し、委員会が各拠点の取組みを統括。学内の共用体制および拠点間の連携を強化。

千葉大学

各部局の教員等をメンバーとした部会を設け、全体の効用化を推進



狙い・ポイント: 従来、各キャンパスおよび部局で設置されていた機器管理組織は継続しつつ、それらの統括組織として「研究機器共用促進部会」を設置。また事務局の部長も部会員とすることで事務組織との連携を強化。

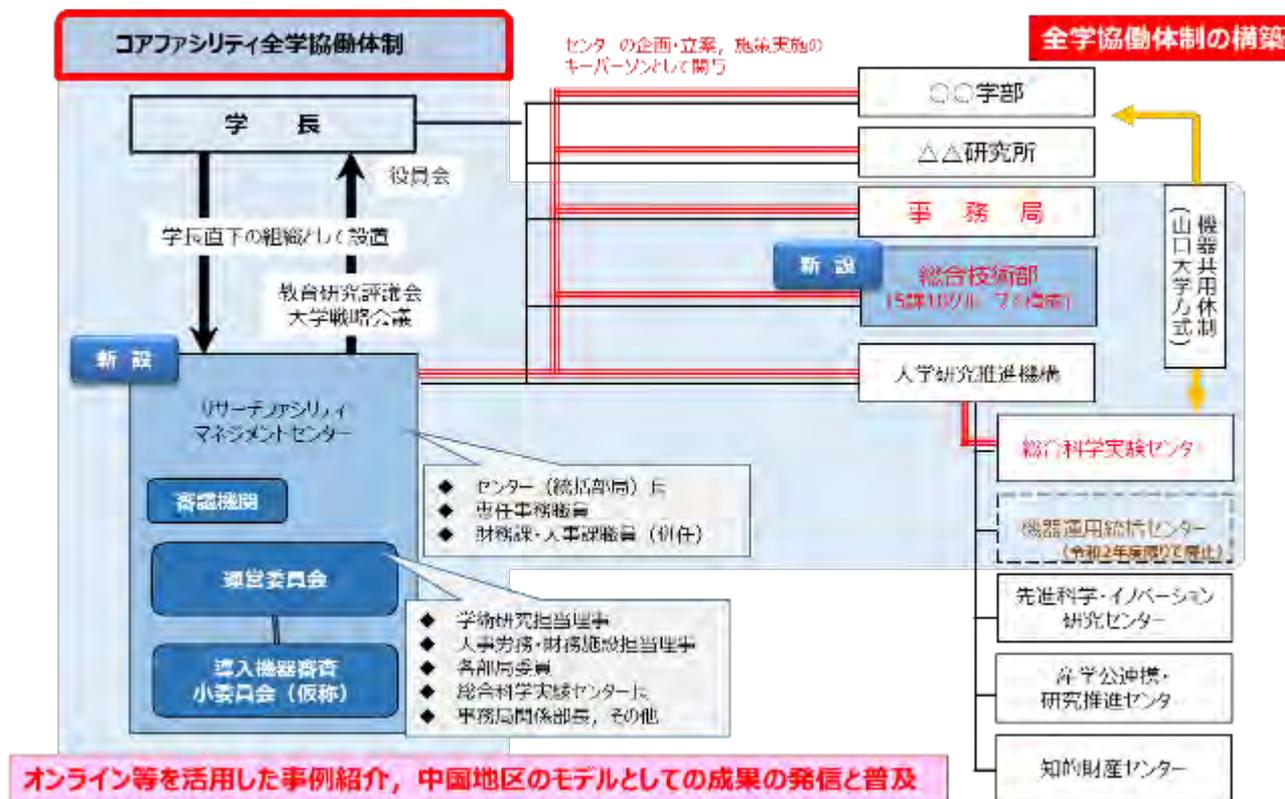
3. 共用システムの構成・運営

(1) 共用システムの構成・運営体制

③ 財務・人事を含めた体制の整備

山口大学

人事・財務担当理事が統括部局の運営委員会に参画。また、人事課、財務課の職員が統括部局に併任



狙い・ポイント: 学長直下に、大学の共用システム構築の中央司令塔として「リサーチファシリティマネジメントセンター」を設置。全学の研究基盤整備のステークホルダーが、学長の下一体で対応する「コアファシリティ全学協働体制」を構築。

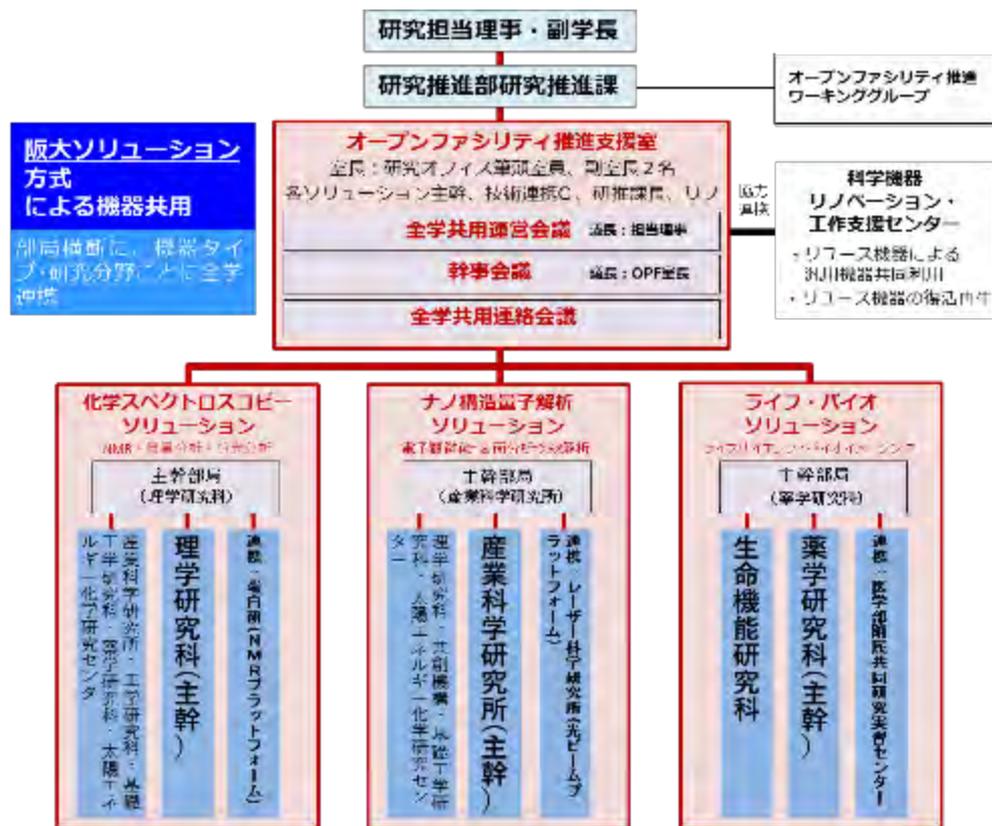
3. 共用システムの構成・運営

(2) 共用システムの基本設計

① 共用の範囲・共用化のプロセス

大阪大学

関連の設備・技術分野で横断的な横串を刺し、それらを利用する部局間での共用を軸に推進



※組織図はR1時点のもの

狙い・ポイント:部局規模が大きい総合大学で単なる部局連携以上のシナジー効果を生み出すため、機器や研究分野ごとに部局横断グループを形成し、密接な全学連携体制を構築した(阪大ソリューション方式)。これらの全学連携を調整・統括する組織が、オープンファシリティ推進支援室である。

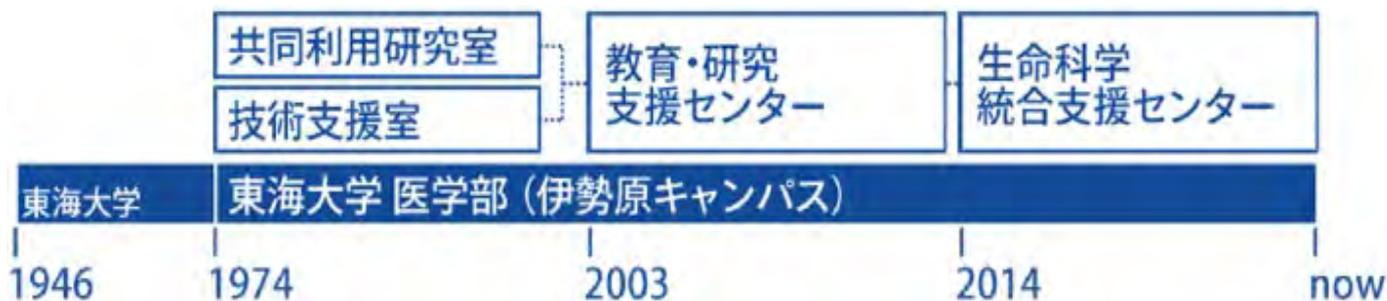
3. 共用システムの構成・運営

(2) 共用システムの基本設計

① 共用の範囲・共用化のプロセス

東海大学

医学部において共用化の取組が先行して進み、他分野にも展開が図られ、全学的な共用システムの構築に発展



- 医学部が設置された1974年、基礎と臨床、他学部との有機的な連携を図るため、共用機器を集約
- 2003年、各教室の技術職員が所属する技術支援室と統合し、研究及び教育の支援を一体的に進める体制に

狙い・ポイント: 医学部の共用施設は、大学所属の専任技術職員38名で構成。人件費・予算ともに大学負担によって運営される組織となっており、設備・機器の保守に携わると同時に専門分野ごとの技術や知識を活用し、迅速かつ高品質な共用体制を構築。この経験をもとに全学的な共用体制構築に寄与。

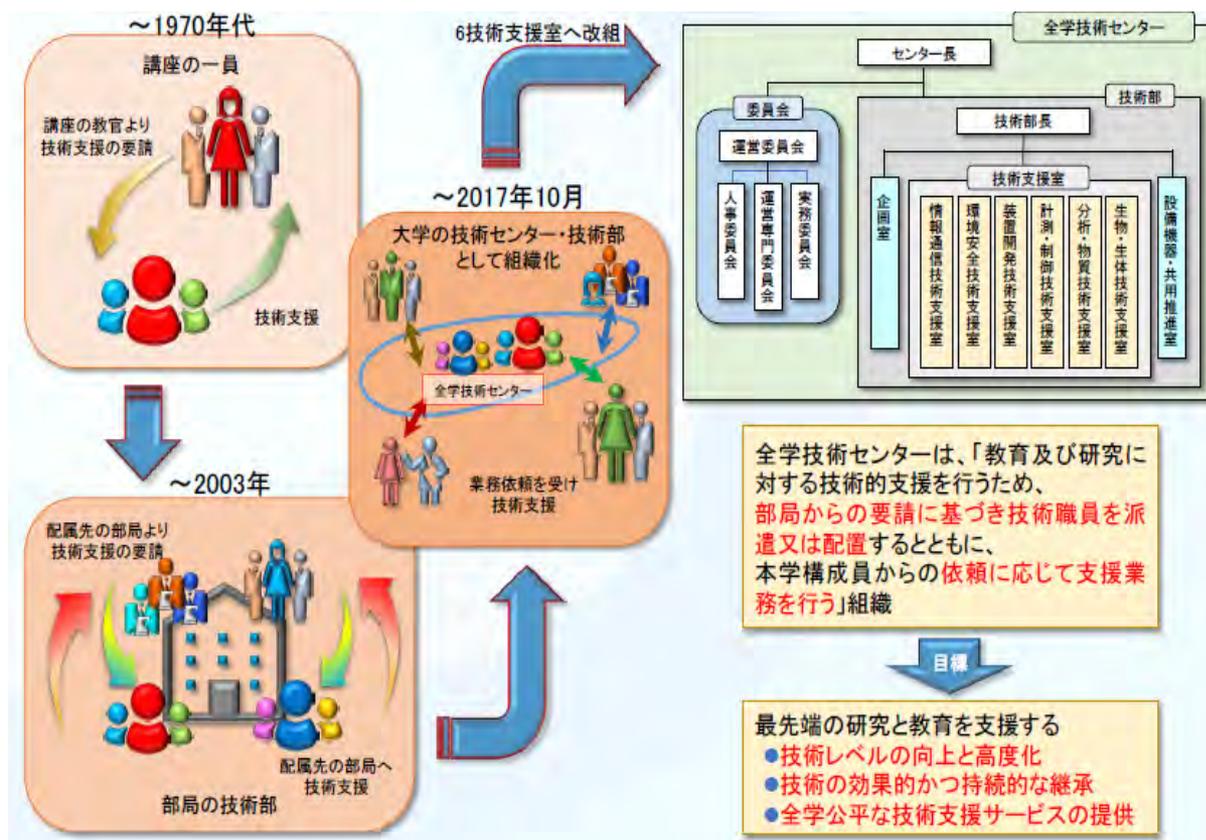
3. 共用システムの構成・運営

(2) 共用システムの基本設計

① 共用の範囲・共用化のプロセス

名古屋大学

技術職員の段階的な一元化を進め、全学的な支援体制に発展



狙い・ポイント:名古屋大学の移り変わりや人員削減から、講座の一員だった1970年頃から約50年を経て現在の全学技術センターへ変遷し、組織による人材育成や管理運用を進め、効率よく大学全体の研究基盤を支えている。

3. 共用システムの構成・運営

(2) 共用システムの基本設計

② 共用の対象とする研究設備・機器の選定

宮崎大学

財務部と連携し、資産台帳で設備を把握。共用可能かアンケートで調査

[令和元年9月25日 共同利用設備管理委員会決定]

宮崎大学研究設備の共同利用ガイドライン

1. 目的

厳しい財政環境の中、より良い教育研究環境の整備を図るために、限られた資源の有効活用が求められる。本ガイドラインは、本学が所有する研究設備の学内外における共同利用の推進を目的に制定する。

2. 基本事項

(1) 共同利用の対象となる設備は、以下の通りである。

- ・ 予算申請に当たり、共同利用可として申請し採択された設備
- ・ 500万円以上の研究設備について、調査により管理者が共同利用可とした設備
- ・ 500万円以下の設備で、管理者から共同利用可との連絡があった設備
- ・ 500万円以下の設備で、既存の予約システムに登録されている設備

狙い・ポイント: 研究設備の共同利用ガイドラインを独自に策定。共同利用の対象設備、共同利用の形態を定義し、徴収した利用料金の用途や設備管理者への分配についても明記。

3. 共用システムの構成・運営

(2) 共用システムの基本設計

② 共用の対象とする研究設備・機器の選定

千葉大学

設備・機器の共用化(及び更新)の判断基準を整備

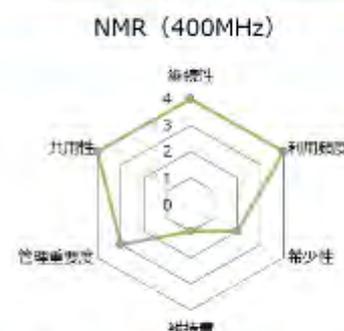
共用化およびその継続(更新)にかかる判断基準を統一化(整備中)



総合的に共用に有効
→整備して共用継続



継続性に大きな難点
→運用停止(更新を模索)



維持費と希少性に難点
→運用停止(他装置で代用)

点	継続性	利用頻度	希少性	維持費	管理重要性	共用性
4	今後10年以上利用できる	ほぼ毎日使用	代替装置が無く外部利用も困難	年間20万円以下	専門スタッフが対応すべき	学内・学外の幅広い利用
3	今後5~6年は利用できる	週2~3回程度使用	代替装置は無いが外部利用可能	年間50万円以下	経験ある兼任職員が対応すべき	学内・学外である程度利用
2	今後2~3年は利用できる	月2~3回程度使用	代替装置が有るが外部利用困難	年間100万円以下	経験少ない兼任職員でも対応可	学内ではある程度利用
1	1年程度しか使えない/使用困難	年数回程度使用	代替装置もあり外部利用も可能	年間100万円以上	大学院生等でも対応可	あまり利用が見込めない

狙い・ポイント: 研究者だけでなく事務職員を含む第三者にもわかりやすい判断基準を整備して、機器の共用化や更新に対する共通理解を得ることを目指す(項目については分野ごとに整備中)。なお各機器の特殊性についても別途考慮。

3. 共用システムの構成・運営

(3) 共用システムの具体的な運用方法

① インセンティブ設計

理化学研究所

共同利用機器整備・更新調査を実施し、共用システムに登録している設備・機器を対象に、精査の上で理事長裁量経費による更新予算を措置

狙い・ポイント: 研究所の研究資源利用の効率化等を目的に、センター横断的に利用されている研究装置の陳腐化・老朽化については、理研全体の研究活動の推進に関わるため、可能な範囲で本部からの予算措置により更新。

東京工業大学

全学共用化した研究設備の運用等を目的として使用する部局運用スペースについては、維持管理費一部負担金を控除

① 運用面積の算出 控除申請後に運用面積を認定。

運用面積 (従来から変更なし)

- 一 共用研究設備の設置又は保管のための面積
- 二 共用研究設備の利用上必要な作業のための面積
- 三 法令又は安全管理上必要な通路等の面積
- 四 共用システム運用のための面積 ※

※ 遠隔操作や予約室システムの運用を想定、従前と変わらず。

② 評価面積の算出 共用実態に基づく評価結果を反映。 **変更あり**

評価面積 = 運用面積 × 共用実態評価係数 (0, 0.5, 1)

狙い・ポイント: 部局で取り組んでいる設備共用の実態に基づく評価を行い、共用化された設備・機器が設置してある部屋の維持管理費一部負担金を控除する取組を実施。

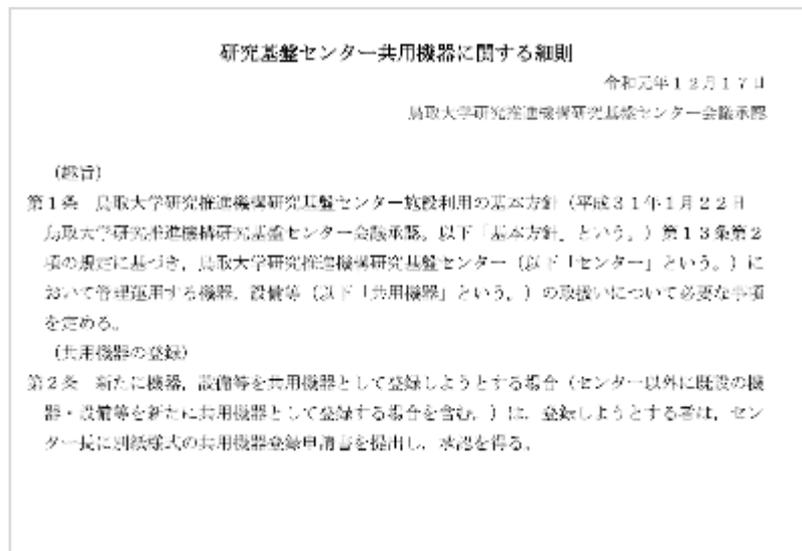
3. 共用システムの構成・運営

(3) 共用システムの具体的な運用方法

② 内部規程類の整備

鳥取大学

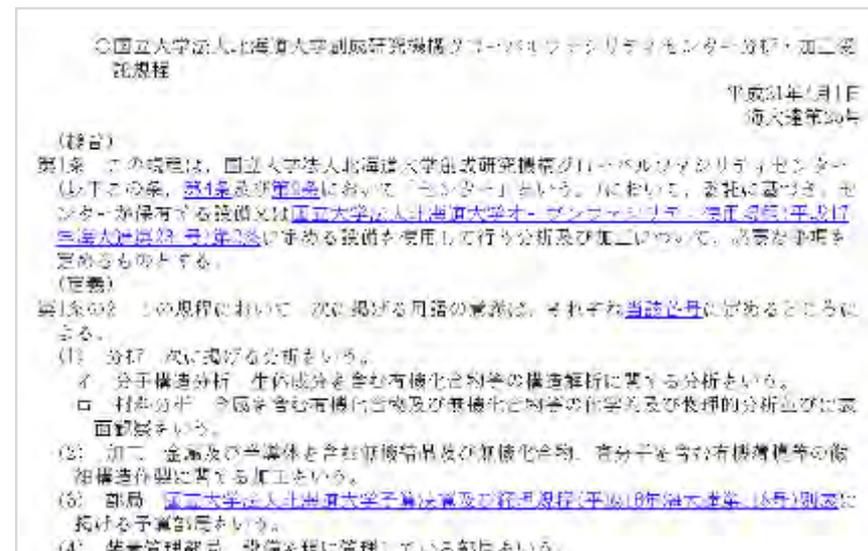
共通機器に関する細則を設け運用



狙い・ポイント: 共用機器の登録方法や機器の利用方法及び管理責任者を明確化。それにより、業務の効率化を図るとともに、利用者の利便性の向上及び新たな共用機器の提供を容易に。

北海道大学

受託分析等に関する規程を策定・公開



狙い・ポイント: 分析機器を使用した教育と研究を支援し、化学分析および分析技術の開発研究を通じて本学における教育・研究の進展に資することを使命とする受託分析事業を展開。主に、生体成分を含む有機化合物の構造解析に関わる分野で、大型分析機器を用いた受託分析を「国立大学法人北海道大学グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程」に従って実施。